

## 昇級試験審査概要

創作部門（新設） 推薦取得者（詳細は本頁下段）

第一部 六段以上（九月号の段位）

五名の審査員による合同審査

準推薦は四〇〇点満点中三九九点で推薦に合格

推薦格は三九〇点満点中三八八点（平均点七八点以上）で

準推薦に合格

正教授以下の段位では合格点に達した者は一階級、審査員

全員が合格点を与えた者は二階級昇格

\* 六段階以下の者も受験可（受験料は第一部料金）

各部門分担審査

優秀作品は最高三階級昇格

第二部 六段階以下（九月号の段位）

第三部 初段階以下（ 〃 ）

五名の審査員による分担審査

優秀作品は最高三階級昇格

\* 第二部は初段階以下の受験可（受験料は第二部料金）

毎月競書を出品している方は是非受験して下さい。

手本・添削希望者は書苑会事務局へお申込下さい。

その他の事項は裏表紙の昇試規定を参照の事。

## 毛筆部「推薦」対象 創作部門について

令和四年に新設した「創作部門」には、多くのすばらしい作品が寄せられ、推薦合格者の方々の実力、表現力の豊かさに感動しています。今回もより多くの方々の出品を期待しています。

自ら題材を選び（感銘を受けた詩句、表現したい文言など）、自運での作品づくりに取り組んでいただきます。推薦合格までに養われた力を大いに発揮し、活気溢れる部門となることを願います。

毛筆部昇級試験審査員による審査を行い、優秀作品を写真掲載します。

※最優秀作品は随意参考手本として掲載します。

※審査結果は研究部の成績と併せ、同人・準同人への推挙の参考とします。

書苑会会長 高橋 香樹

### 《要項》

自運作品（手本によらない）

対象 漢字・随意・かな、いずれかの部門での推薦合格者（合格部門に出品可）（随意は推薦合格した作品が「漢字作品」か「かな作品」

かで判断）

同人・準同人の出品も歓迎

題材 漢詩、漢文、古典、短歌、俳句、現代詩、現代文など

構成・文字数自由（自詠の短歌、俳句も可）

（過去の書苑掲載作品は参考手本としない。同一字句の自運は可）

作品の大きさ 半切以下

出品料 漢字・かな部門 大（半切、半切½など） 三、〇〇〇円

漢字・かな部門 小（半紙、半懐紙など） 二、三〇〇円

（漢字かな交じり書は「漢字」「かな」どちらの部門での審査を希望するか選択）

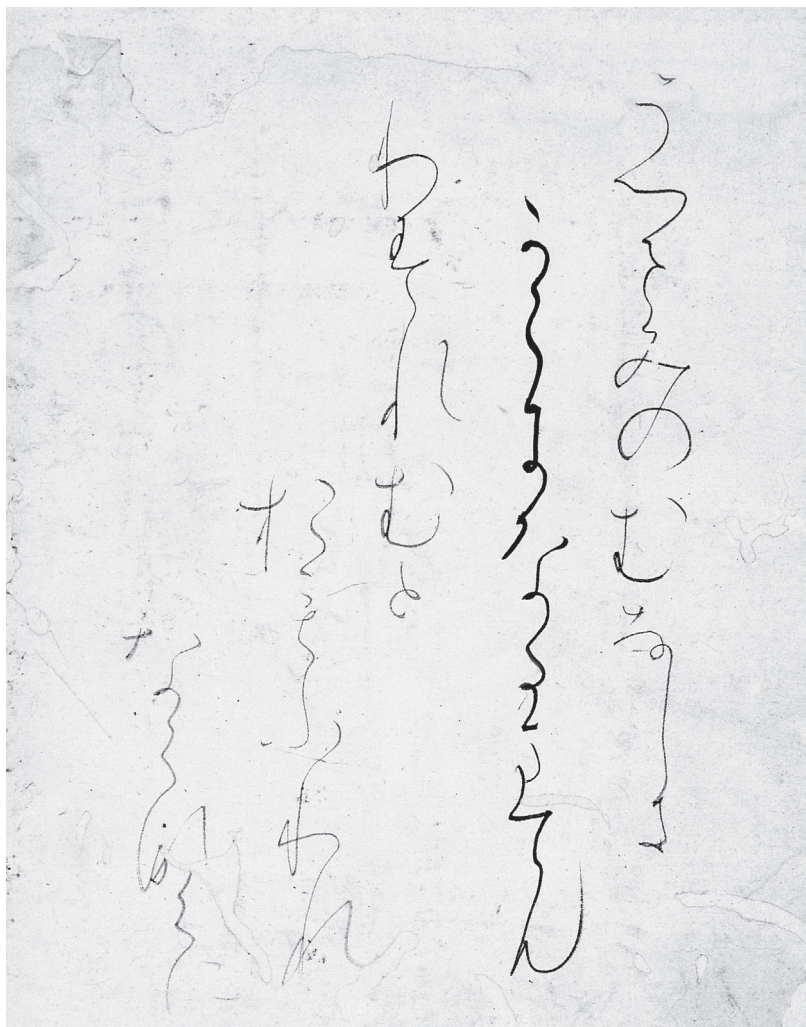
提出締切 9月22日

創作部門用出品票に必要事項を記入の上、作品ごとに袋に入れ提出  
作品返却希望者は返却用封筒（宛先記入、切手貼付）を同封のこと

※出品票、出品申込用紙は8月号に同封。

升色紙

昇試随意参考として次の五行を半切に臨書する。



(二玄社)

『うつ世みのむ奈し支可ら尔なる方で无わ春れむと於毛ふわれなら那くに』  
 半切に収める構成は、自分で考えること。「○○臨」の位置も自分で考えること。  
 ※随意部半紙参考としてもご活用下さい。抜粋可。

一字書 (九月二十二日締切)

課題

窮

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券の余白に「一字」と記入

※字典(『五體字類』『新書源』など)を開き、  
 書いてみたい書体を選ぶことを楽しんでくだ  
 さい。

字典の紹介

(主に毛筆用)

●『新書源』 出版社 二玄社

A5版 一四一六ページ

定価 九、七九〇円(税込)

●『五體字類』増補改定版

出版社 法帖図書出版 西東書房

B6版 七六〇ページ

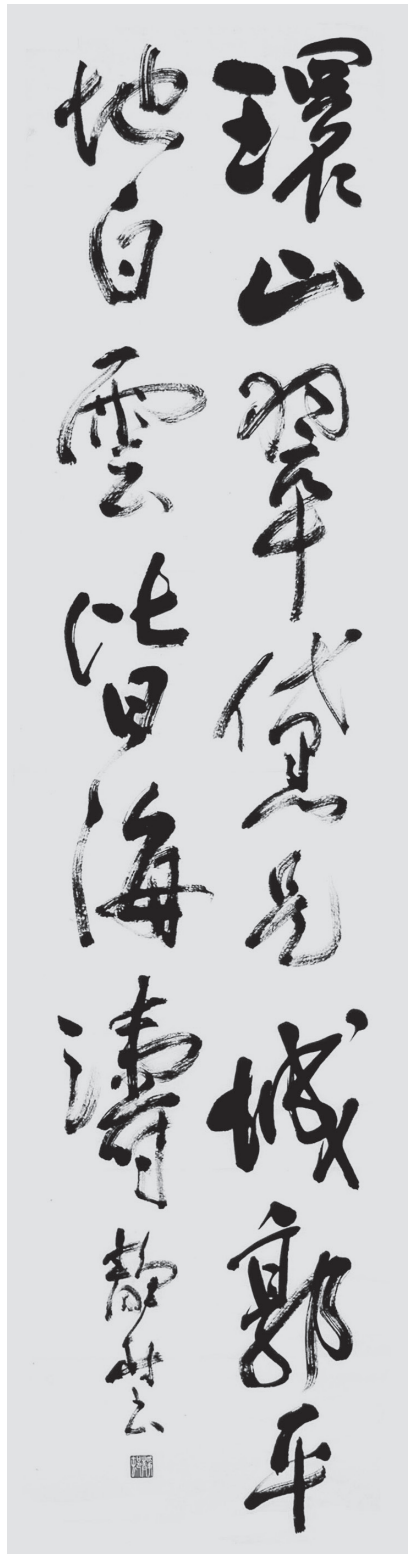
定価 三、八五〇円(税込)

昇試第一部漢字課題

(九月二十二日締切)

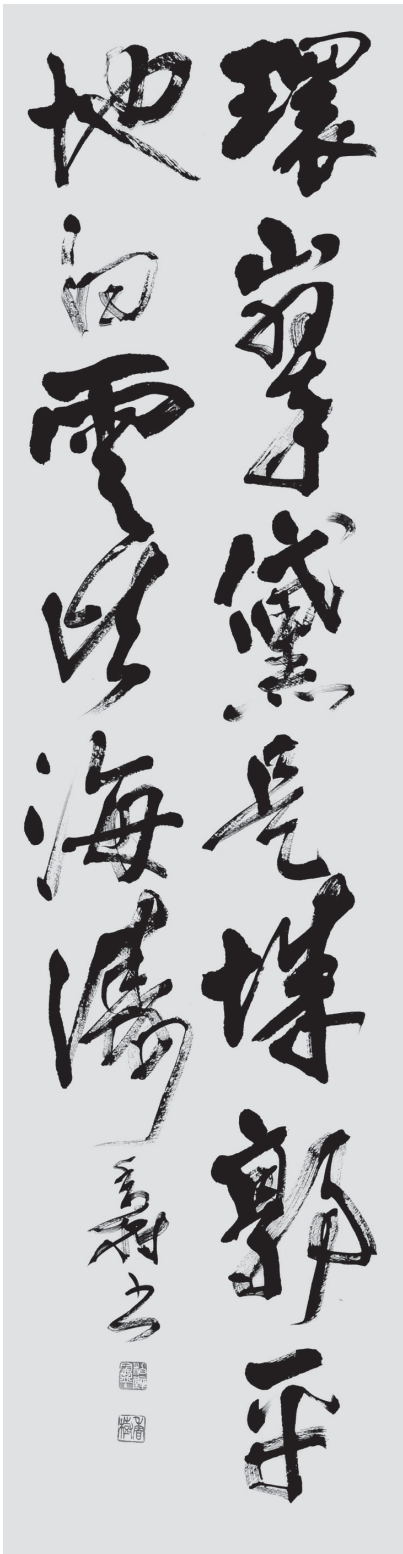
A 鈴木静村先生書

環山翠黛是城郭 平地白雲皆海濤 (虞集)  
かんざん すいたいこ じょうかく、へいち はくうんみなかいたう  
環山の翠黛はれ城郭、平地の白雲皆海濤。



B 高橋香樹会長書

単体作品のむずかしさは、字々の脈絡である。いかにキレギレに見えないようにと工夫を重ね取り組んでください。その具体的な一つ。連綿(実画)をどこかの部分に入れること。例えば、「地白」「皆海」、要は線だけのつながりではなく、気脈のつながりこそ大切。



今回も、最近取り組んでいる行の変化をと思いましたが、連綿線をあまり使わずに試みるのは難しい。上の字のある部分と下の字のどこで受けるかと考えながらの作。墨継ぎは、本来は小字の文字で行なうのですが、今回は、あえて大字の「城」と「雲」で書いてみました。  
訳：みどりのまゆ墨のような樹の繁る山岳が巡って城壁のようであり、平地の白雲は海の大波のようである。

予告 (十月二十二日締切) 月色横分窓一半 秋聲正在樹中間 (陸游)

◆注意 裏表紙の昇試規定を参照のこと。

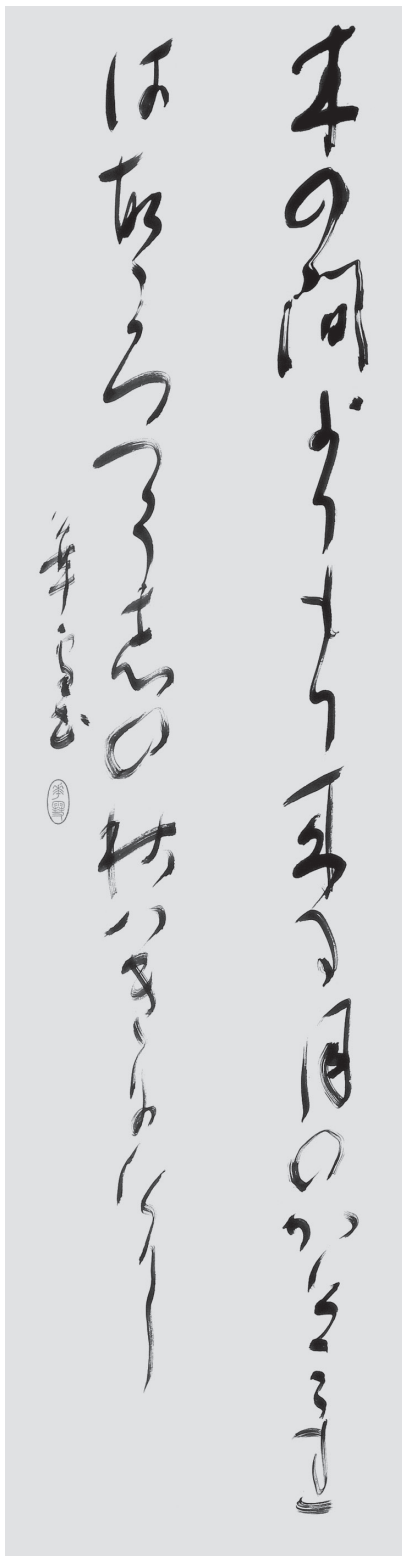
昇試第一部かな課題

(九月二十二日締切)

A

平岡華雪先生書

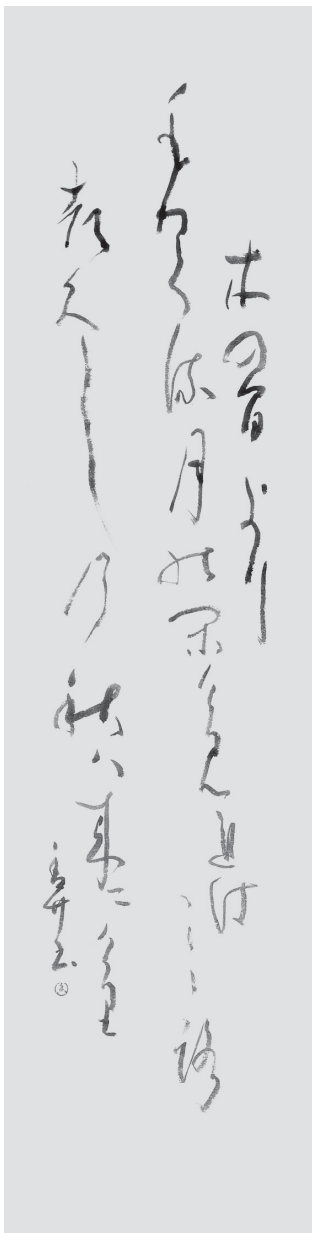
木の間よりもりくる月の影見れば心づくしの秋は来にけり(古今和歌集 読み人しらず)  
木の間よりもり来る月のか介三連は故、ろつ久志の秋八きル介り



B

青柳香竹先生書

木の間より毛利久流月能果介見連はこ、路都久し乃秋八來二介り



学び方

歌意：木の間からもれて来る月光を見ると、心が消えるほどに物思いをさせられる秋が来たことだ。  
今回は、「木の間より」を添えて、三行書きにしました。その為二行目はどうしても、きつく見えますので工夫が必ずです。  
三行目は一字、一字にゆとりを持って書き、墨継ぎは終句となりました。  
漢字部分を仮名に、変体仮名にと、いろいろ工夫をこらして書いてみましょう。御自分が納得のいく作品になるよう練習しましょう。

『古今和歌集』の歌の解釈を記した書物『顕注密勘』の原本が「文書の正倉院」ともいわれる冷泉家の蔵で令和六年に発見されました。鎌倉時代を代表する歌人にして古典研究の大家である藤原定家の自筆原本で、定家理解及び古今和歌集研究を進めるための貴重な資料となります。『顕注密勘』の写本はいくつも残っていますが、この原本には定家自らの書き足した部分など興味深い発見が多く、国宝級の至宝であり、大切に受け継がれることが期待されます。

予告

(十月二十二日締切)

ただひとり泣かまほしさに来て寝たる宿屋の夜具のころよさかな(石川啄木)

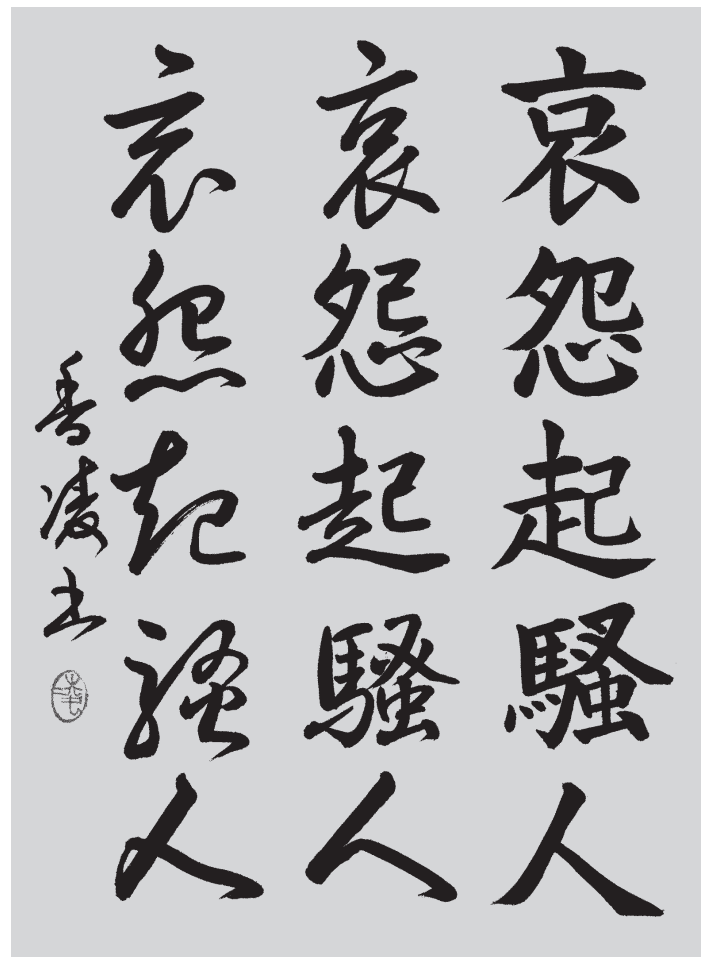
◆注意 裏表紙の昇試規定を参照のこと。

高橋香凌先生書

哀怨起騷人(李白詩選)

哀怨あいえん 騷人さうじんより起るおきる

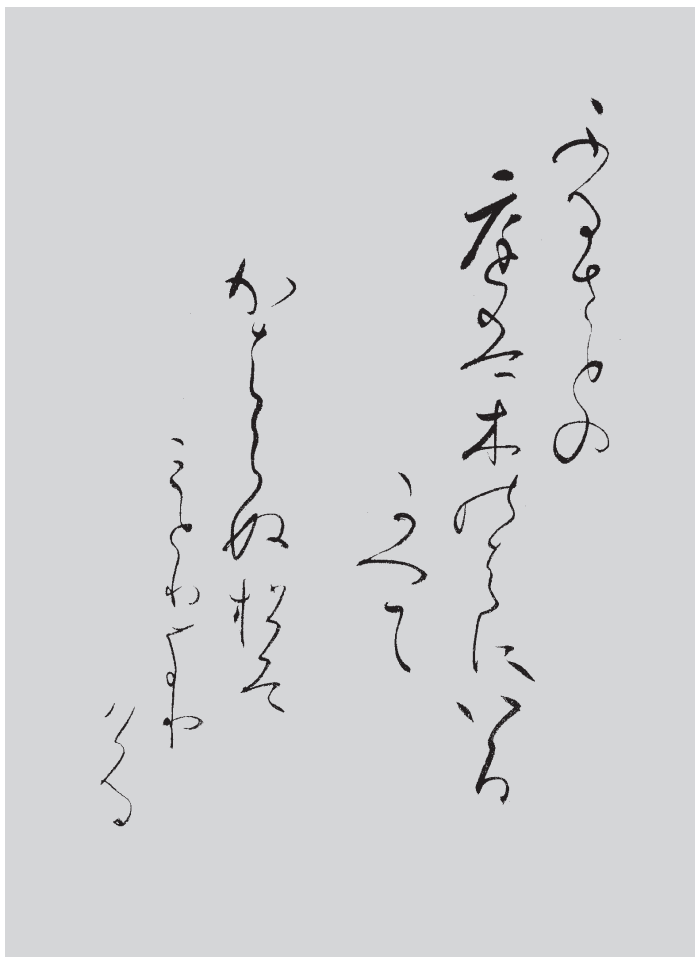
昇試第二部漢字課題 (九月二十二日締切)



訳：哀しみの歌、怨みの歌だけが、「離騷」の作者、屈原たちによって生みだされたのだ。

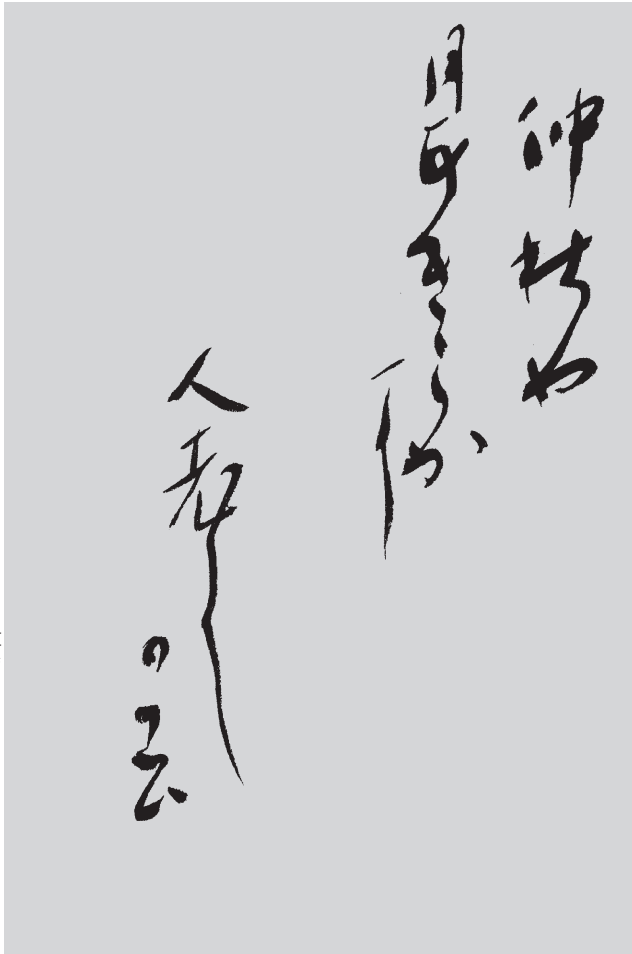
高塚竹堂先生書

ふるさとの庭は木の葉に色かへてかはらぬ松ぞ緑なりける(千載和歌集 惟宗廣言)  
ふるさとの庭盤木能者はにいろ可かへてか者はらぬ松ぞ三と利奈利介る



◆注意 裏表紙の昇試規定を参照のこと。

昇試第三部かな課題 (九月二十二日締切)



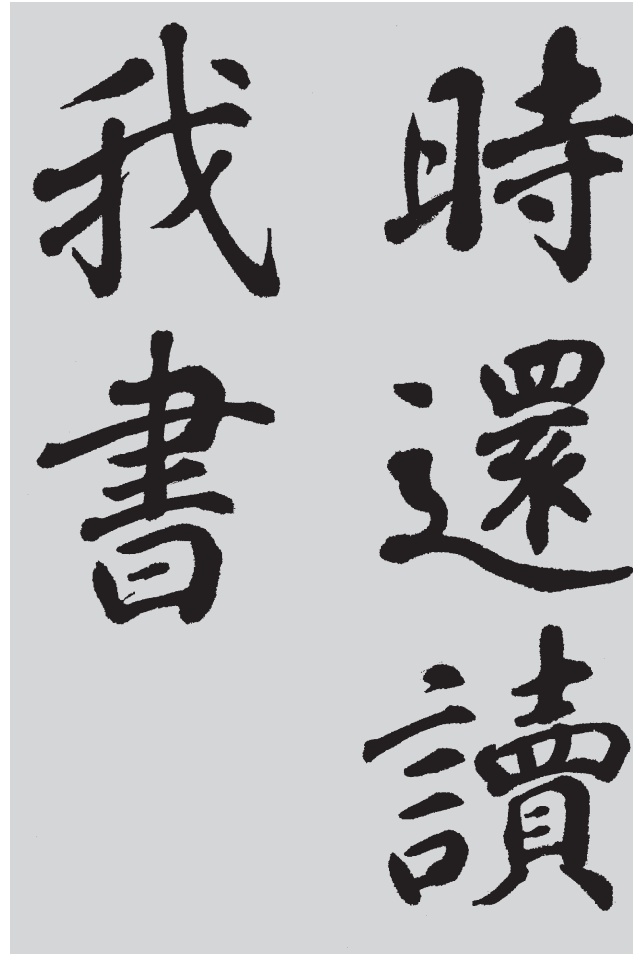
平岡華雪先生書  
 仲秋や月明あきかに人老ひとし (虚子)  
 仲秋や月あきらか耳人老し

〈盛り上げと締め〉  
 「仲秋や」硬くならず、ゆったりと。「月あきらか耳」が主調、「あきらか」に揺れ、特に「耳」の終画をすっきり書ければ成功。

(10月22日締切)

吹かれゐる薄すすきの中を通りけり (星零子)

昇試第三部漢字課題 (九月二十二日締切)



(10月22日締切) 吾志在烟霞 (陳天錫)

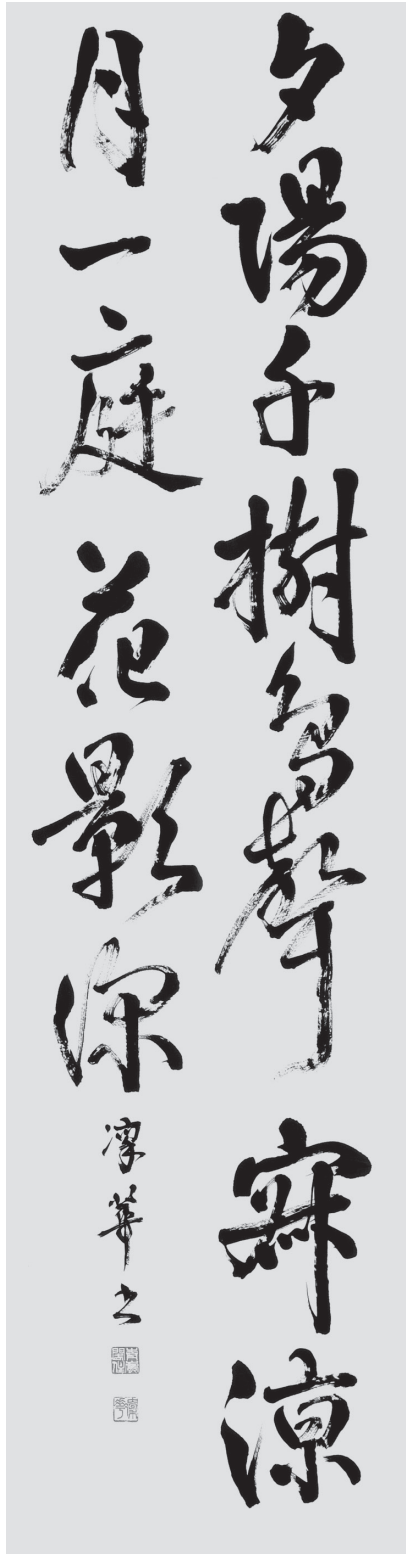
平岡華雪先生書  
 時に還またた我が書を読む。(多紀元堅)  
 多紀元堅の著書

〈横画に生氣を—〉  
 横画の多い課題です。このような場合は横画の書き方が主調となります。鋒先を利かせ、筆勢を加え、直線的に運筆すると、すっきりした線が書けます。

昇 試 随 意 参 考

勝間 凜華 先生 書

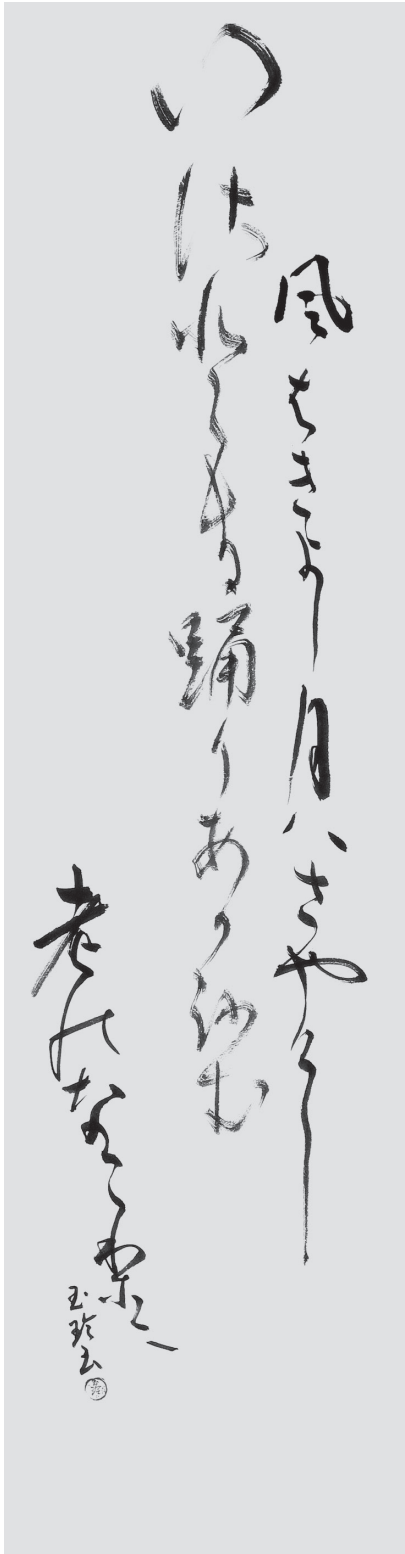
夕陽千樹鳥聲寂 涼月一庭花影深 (李紱)  
夕陽千樹鳥声寂たり、涼月一庭花影深し。



訳：多くの木にみちた夕日の影に鳴く鳥の声はさびしく、庭一杯にさす月の影は涼しく花影は深い。

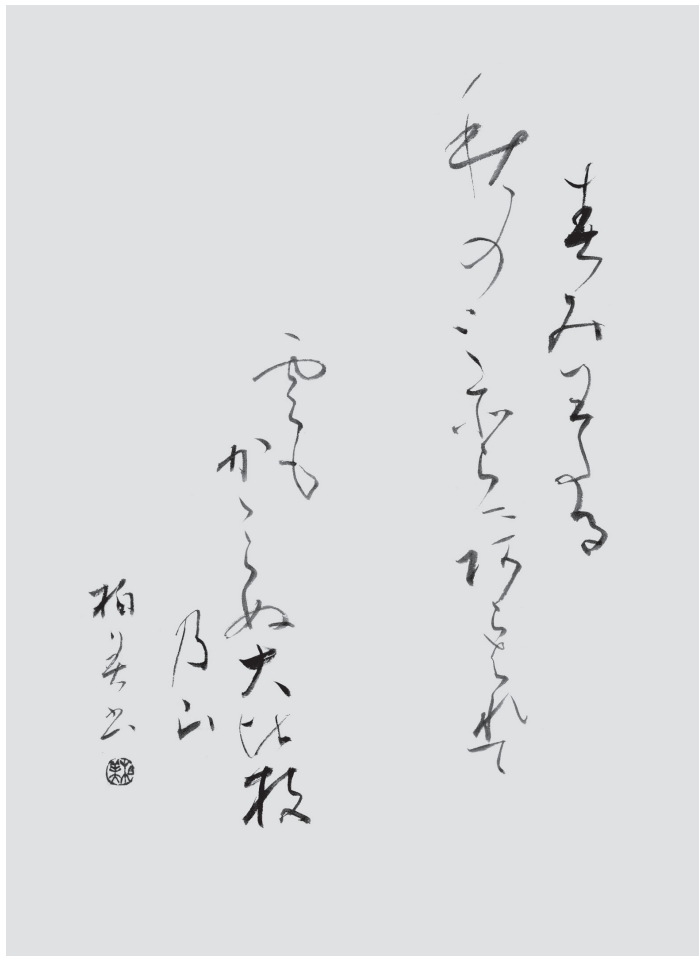
大和田 玉玲 先生 書

風は清し月はさやけしいぎともに踊り明かさむ老のなごりに (良寛)  
風者きよし月八さや介しい佐登も尔踊りあ可沙む老能なこ梨二



◆注 意 裏表紙の昇試規定を参照のこと。

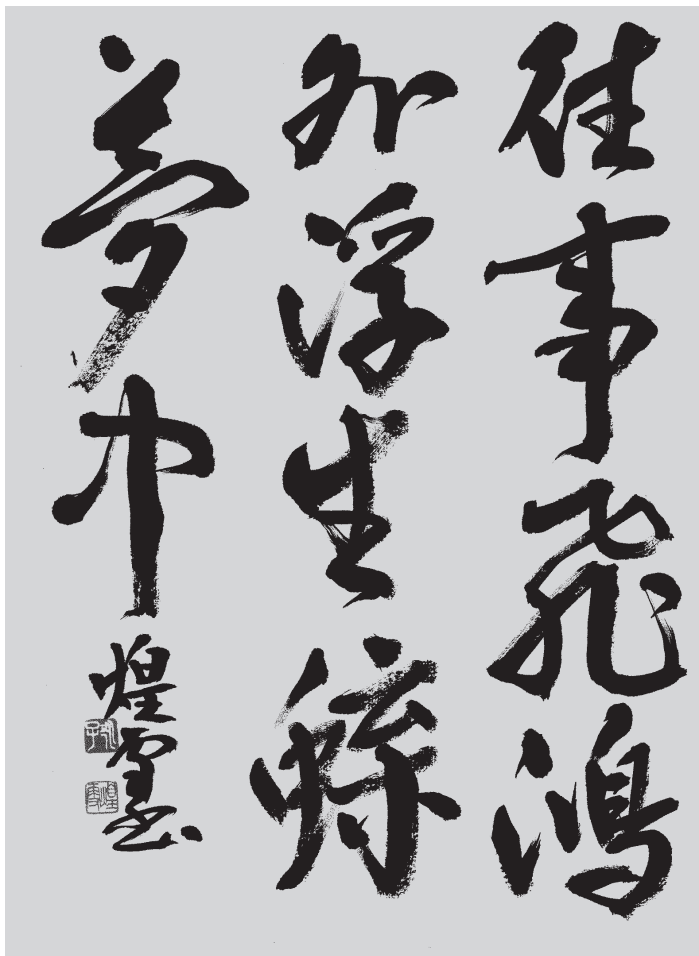
昇試随意参考



石島柏美先生書

訳：過ぎ去った昔の事は飛鴻の外で跡もない。このはかなき人生は蝶に化した一夢の中にある。蝶夢は荘子の故事。

昇試随意参考



星野煌雪先生書

往事飛鴻外 浮生蝶夢中(顧清)  
 往事飛鴻の外、浮生蝶夢の中。

◆注意 裏表紙の昇試規定を参照のこと。



# 硬筆部 課題参考

(九月二十二日締切)

赤木典子先生書

本澤優香先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

モーツァルトの音楽は美の大氾濫であつたと同時に、冷たい焔のような不思議な気魄を持ったものである。

光輝と魅力と、美しくと愛らしさを撒き散らすモーツァルトの音楽こそは、我らの生活に最も深き縁故を持つものと言ふべきである。

課題 1 (初段階以上)

光輝と魅力と、美しさと愛らしさを撒き散らすモーツァルトの音楽こそは、我らの生活に最も深き縁故を持つものと言ふべきである。

(野村胡堂『楽聖物語』)

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題 2 (初段階以下)

モーツァルトの音楽は美の大氾濫であつたと同時に、冷たい焔のような不思議な気魄を持ったものである。

(野村胡堂『楽聖物語』)